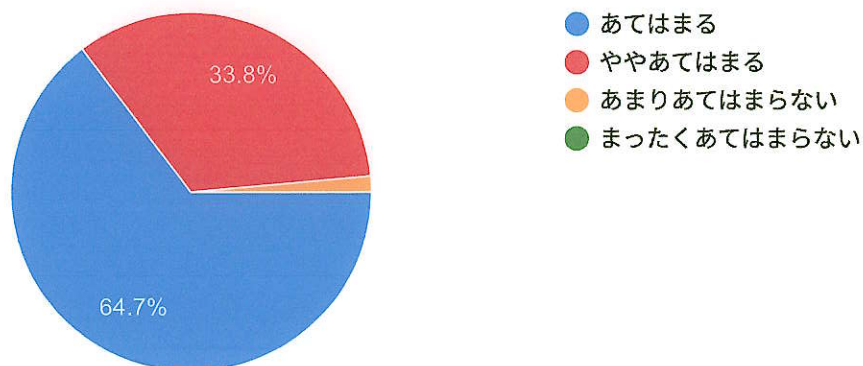


R7 1学期 保護者 学校評価

1 本校は、行事や教育活動等の工夫・改善に努め、安心して生徒を登校させることができますか。

 コピー

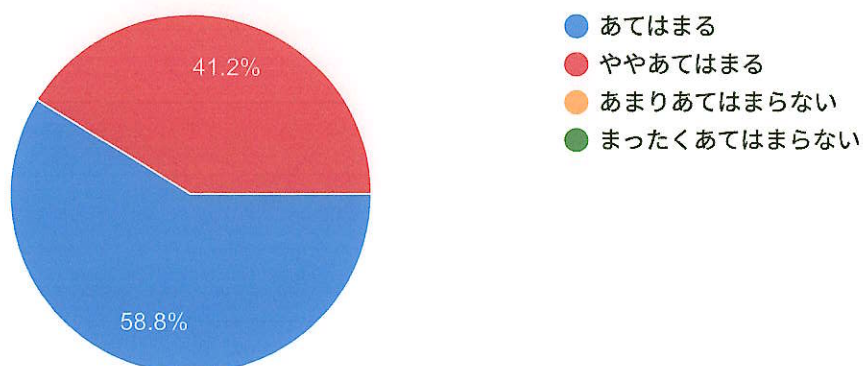
68 件の回答



2 本校は、学級・学校便り等で積極的な情報提供に努めており、生徒の学校での様子がわかりますか。

 コピー

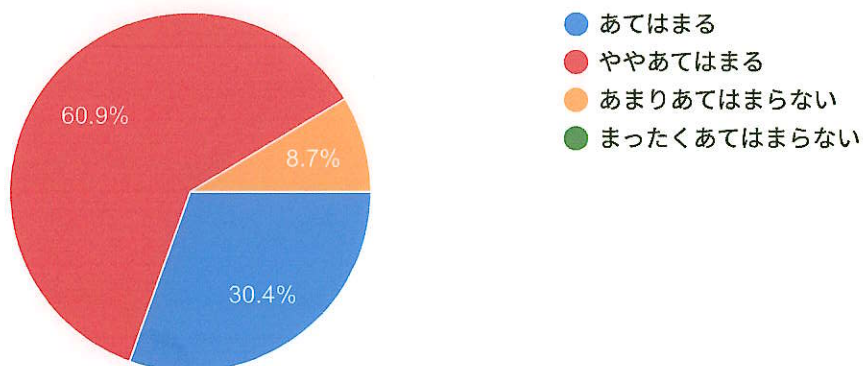
68 件の回答



3 本校は、自らすすんで学習する生徒の育成に努めていますか。

 コピー

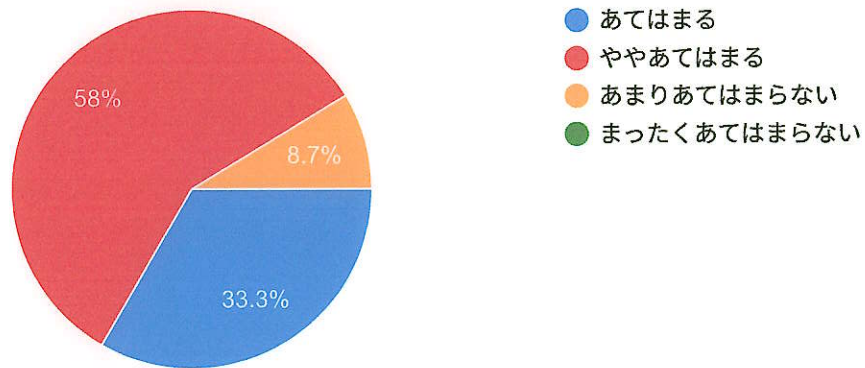
69 件の回答



4 本校は、生徒が主体的に授業に取り組むために工夫した授業を行い、生徒は授業がわかりやすいと言っていますか。

 コピー

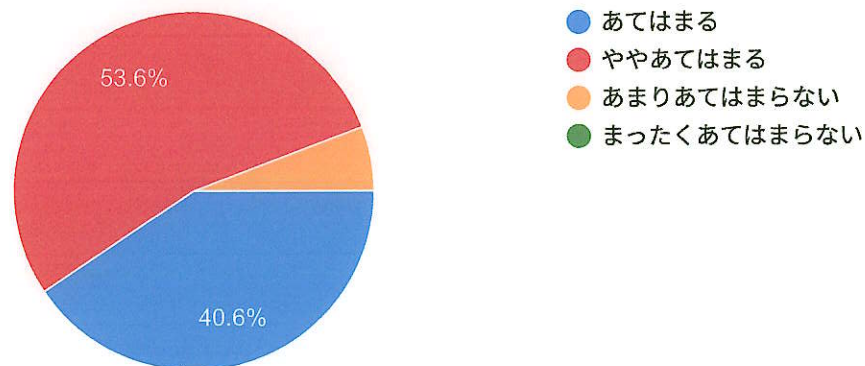
69 件の回答



5 本校は、保護者と連携し、基本的生活習慣の定着を図る努力をしていますか。

 コピー

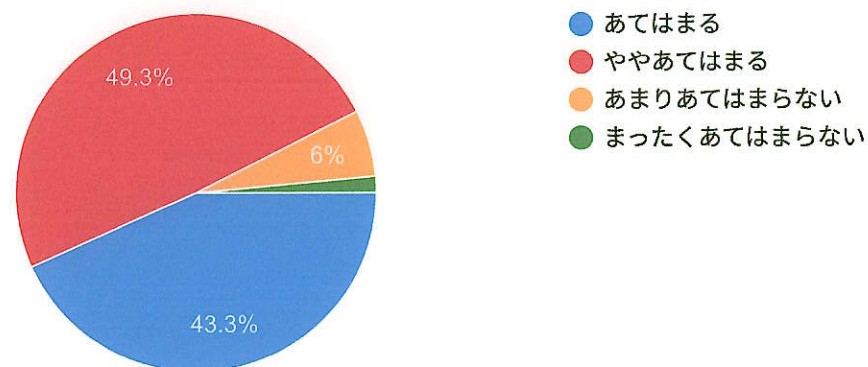
69 件の回答



6 本校は、問題行動やいじめ、相談等に迅速で丁寧な対応をしていますか。

 コピー

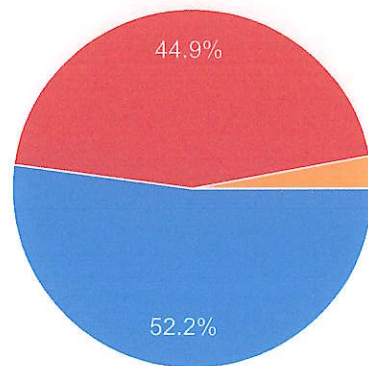
67 件の回答



7 本校は、部活動や安全指導、保健指導等を通して、「体力の向上と健康教育」の充実に努めていますか。

 コピー

69 件の回答

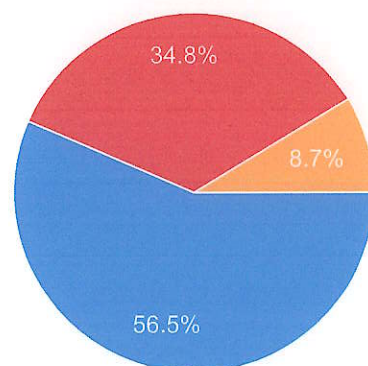


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

8 本校は、そうじや整理整頓が行き届き、生徒が過ごしやすい環境になっていますか。

 コピー

69 件の回答

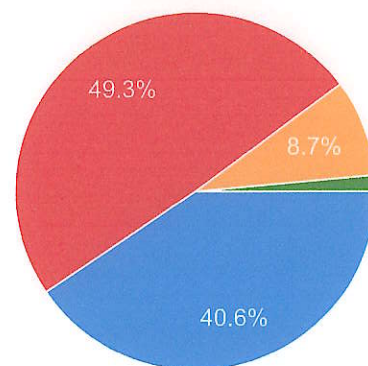


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない

9 保護者は、家庭や地域で互いにあいさつし、生徒の見本となっていますか。

 コピー

69 件の回答



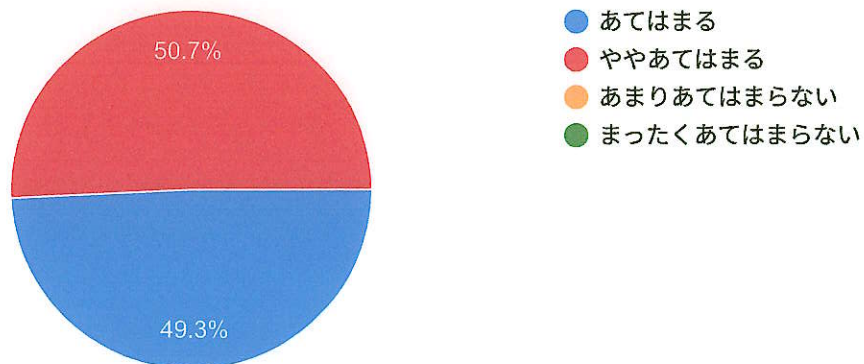
- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない



10 家庭では、物を大切にし、言葉遣いに気を付け、他者を尊重することは、大切であることを伝えていますか。

 コピー

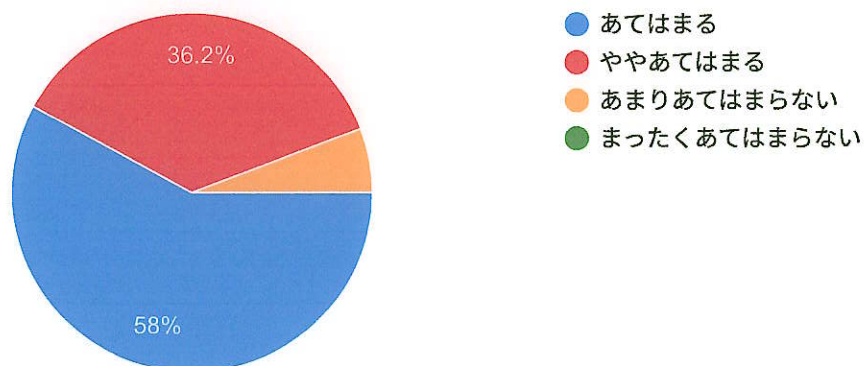
69 件の回答



11 家庭では、登下校時の際の安全について声掛けしていますか。

 コピー

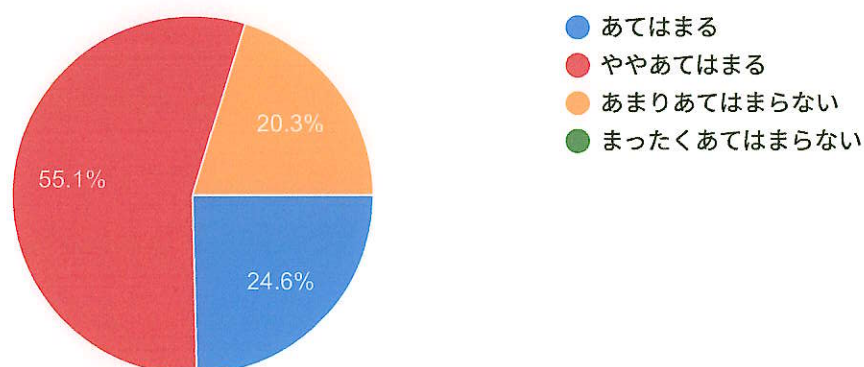
69 件の回答



12 家庭では、生徒が家庭学習に取り組みやすい環境をつくっていますか。

 コピー

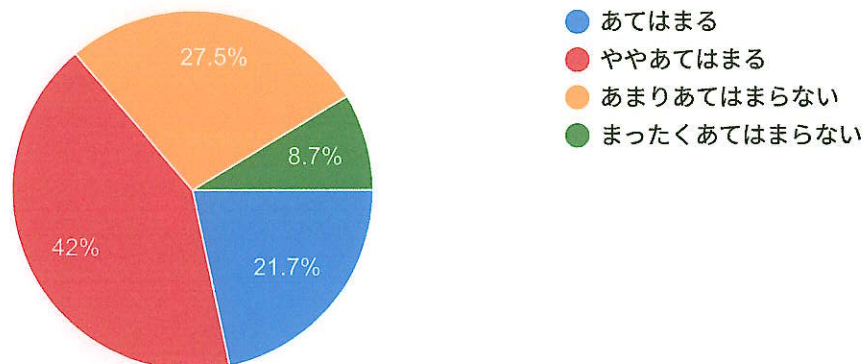
69 件の回答



13 家庭では、生徒が読書に取り組みやすいように、一緒に本を読んだり、買い与えたり、図書館で借りたりしていますか。

 コピー

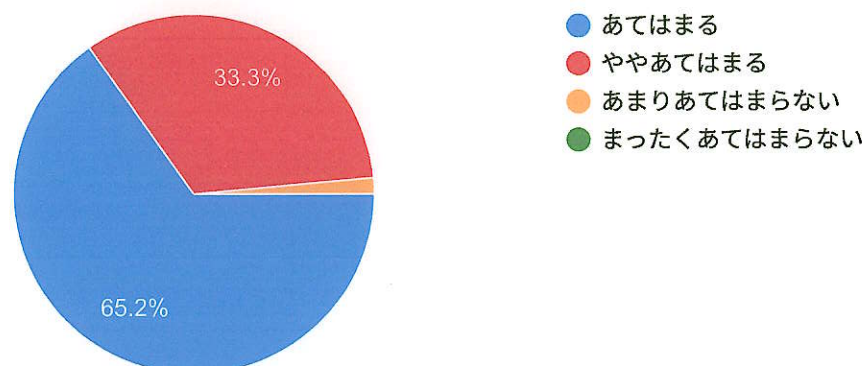
69 件の回答



14 家庭では、生徒の話を聞いて、誉めたり、アドバイスしたり、子どもがかけがえのない存在であることを伝えていきますか。

 コピー

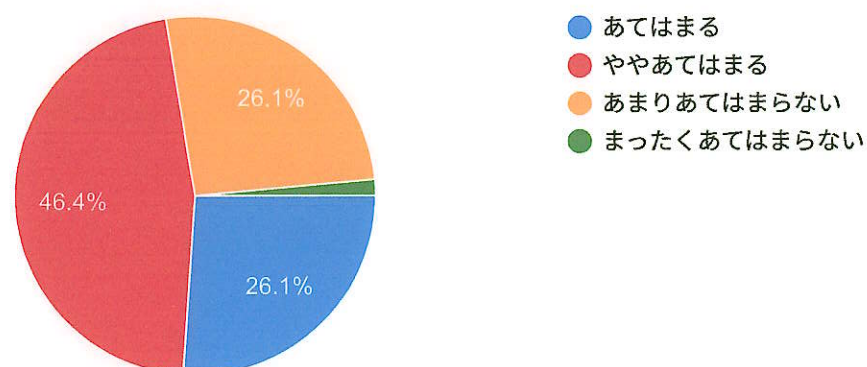
69 件の回答



15 家庭では、役割を決めて手伝いなどをさせていますか

 コピー

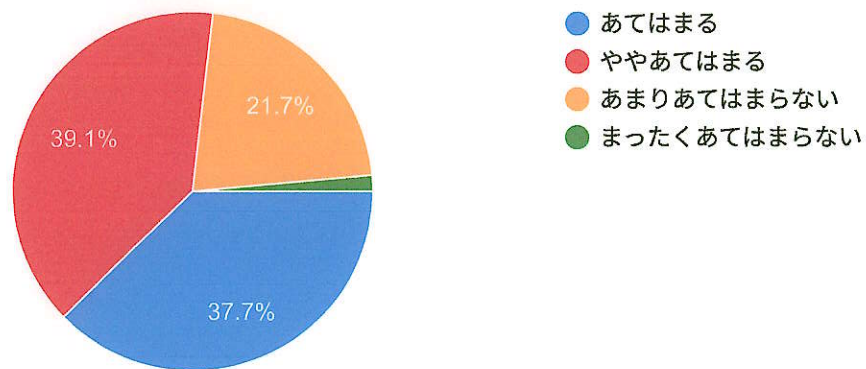
69 件の回答



16 家庭では、地域の行事と一緒に参加したり、声かけしたりしていますか。

 コピー

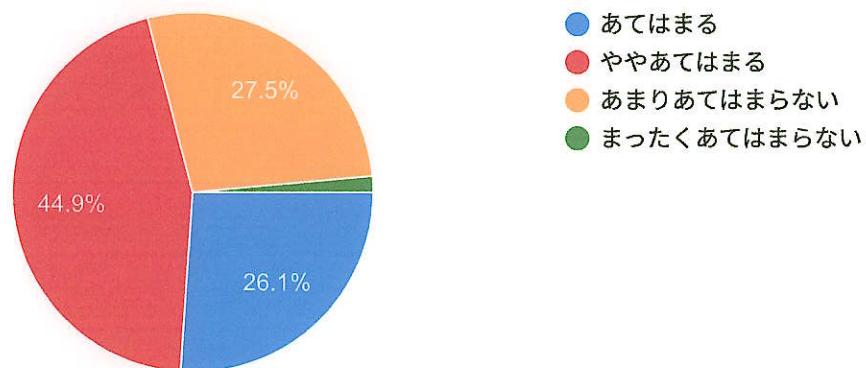
69 件の回答



17 家庭では、「スマホ・ゲーム・ネット等」の活用について、ルールを決めて取り組んでいますか。

 コピー

69 件の回答



18 生徒の良い点や感動した点などがあれば紹介してください(一部)

- ・ 二年生になり、友人関係や部活動の話をたくさんするようになりました。多感な時期で親との距離を取るようになるだろう…と思っていましたが、嬉しい予想外で日々の生活に感動です。
- ・ 人の事を気にかけてくれる所。親が遅くまで仕事や家事をしていたりすると、早く寝た方がいいよと気遣ってくれる所。
- ・ 龍風音楽祭。素晴らしかったです。運営もとても良かったです。特に三年生の合唱に感動しました。二年生春の祭典でもいい合唱が出来るといいですね。そしてこの素晴らしい歌声と伝統が下級生に引き継がれることを願っています。
- ・ 家の事を自分から色々やってくれるので、助かっています。
- ・ 色々なことに自ら挑戦する姿が見られるようになり、頼もしく思います。チャレンジして失敗しても大丈夫と思える温かな学級作りをしていただいているからだと思います。ありがとうございます！
- ・ 今まで運動や走る事が苦手で全くやらなかったのですが、朝ランに参加するようになり、少しずつ苦手を克服出来ているように思います。
- ・ 計画的に宿題などをすすめられる。手伝いなど積極的にしてくれる。
- ・ 娘が足の怪我をした時、荷物を声をかけて持ってくれたりする友達がいたり、クラスや学校が様々な場面でさりげなく助け合っている様子を見たり聞いたりします。みんな優しいなと思います。
- ・ 今年度は地域行事(浜おれ)にも参加し、上級生としてお手本になる働きをしてくれました。

家庭でも、姉妹のお世話をしたり料理の手伝いをしたり成長が見られます。陰の努力家で相手を思いやる気持ちを持った子なので、とても大切な存在です。

保護者の学校評価から

1 学習面

5教科に関してはテストの回数を増やし自分の学力の状態を家族、本人で確認したい。

意欲ない子は中間期末テストという目標がないと、勉強しないのを感じます。小学校でも学期末にまとめテストがあり、学期ごとに習熟をはかり休みに入っています。中間期末テストを通じて友達と競い合ったり勉強のやり方を教え合ったりして伸びていくのだと思います。「テストのために勉強するのではない」は分かりますが、まだ子供です。親の支援の仕方でも反省することばかりですが、中学生になると特に親の話を素直に受け入れてもらうのは難しいです。現実的に資格試験も就職試験も高校受験もテストです。国語社会数学理科英語だけでも学期末に行なうことで学力向上につながると思うのですが…。

○テストの回数、実施方法について

- 年間を通してNRT、全国学調（3年）、鹿児島学力・学習状況調査（1、2年）など全国や県と比較できる調査を実施しています。
- 今年度から、1・2年生でも広い範囲の実力を測る「実力テスト」を実施しています。学校としては、諸調査と各教科の単元テスト、実力テストの実施で学習内容の定着を見取っていきたいと考えています。
- ※ これ以上テストを増やすと、子どもたちの学習意欲が低下するのでは？生活面でも睡眠不足など懸念されます。

学習面に関して、定期テストもなく、単元テストでの評価をするのであれば、もう少し小まめに、単元テストの結果を保護者にも知らせてほしい。今、どんな学習をしていて、何のテストがいつ行われているのかなど、把握したい。今年から実力テストが行われるとのこと、実力テストに向けた対策は、学校として行わないのか、どうなのかも教えてほしい。技能教科の評価の見取りもどのようにして行うのか、知らせてほしい。初めて中学校に通わせる保護者にもしっかりわかるように伝えてほしい。

○テストがいつ行われるのか知りたい

- お子さんにお聞きになるか、タブレットのクラスルームに各教科担任からテストの日時やテスト範囲を送っていますので、ご確認ください。

○実力テストに向けた対策について

- 大まかな範囲は伝えます。夏休みの課題等で振り返りができるようにしています。

○技能教科の評価の見取り、評価方法について

- 年度初めに生徒へは授業開きで、保護者には「各教科の評価方法」を作成し、配布していきます。

○保護者にわかりやすく、しっかり伝えてほしい

- 現在の「学習のあゆみ」を“単元テスト綴り”にして、保護者が自分の子どもの点数、学習内容の定着のようすを見てわかるように改善していきます。
- 「学習のあゆみ」を保護者に返すのは、年5回。
 - 1学期は2回（教育相談前、学期末）、
 - 2学期は2回（10月下旬、学期末）、
 - 3学期は1回（3年は2月下旬、1、2年は3月）とします。

Q:そもそもなぜ単元テストになったのか？

定期テストをやっていたとき・・・

1. 評価方法が変わり、単元ごとに見取り、評価を付けることになった。

学習指導要領の改訂により、4観点から3観点に変更になり、単元ごとに見取り、最終的に評定を付けることになった。

2. 学習内容が定着しにくい

定期テストは範囲が広い。2～3ヶ月学習した内容を一度に問うテストのため準備に時間がかかり、「一夜漬け」になりやすい。一夜漬けで詰め込んでテストを受けても、学習した内容は定着せず、学習効果が下がる恐れもある。

3. 学習意欲（モチベーション）の低下

広範囲のテストになるため「テスト勉強をしたところが出題されなかった」、テスト勉強をしても点数に結びつかないなど。

4. テスト前部活動停止期間中の過ごし方の問題

一生懸命学習に取り組む生徒とそうでない生徒の差が生じていた。



単元テストにした理由

“日々の継続的な学習への転換”

1. 学習内容の定着を向上させるため

単元ごとに区切ってテストをするため、記憶が新しいうちにテストができ、学習した内容が定着しやすくなる。

2. 単元テストにすることで日常の学習時間を増やすため＝学習習慣の形成

こまめにテストがあることで、日常的に学習に取り組む習慣が身に付く。また、見通しを立てて学習に取り組む力（自己調整力）等も身に付く。

3. 弱点の早期発見と改善ができる

テスト範囲が狭いため、自分の理解度が低い部分の早期に発見し、学習のやり直しや改善がしやすくなる。

※ 「定期テスト前に一生懸命勉強する」という考え方ではなく、普段からコツコツ頑張っていかなければ評価されないという考えに認識を変えていかないとはいけません。

※ 普段頑張れないけど、追い込まれたら頑張るという姿勢だと、この先、広い社会へ出たときに実力を発揮しづらくなっていくことも考えられます。

2 生徒指導面

ネームプレートに安全ピンで止めるタイプへ変更は出来ないでしょうか？
忘れてくる生徒も減ると思いますが、いかがでしょうか。

○ ネームプレートを安全ピンタイプへの変更について

- ・ 現在は、1枚440円で購入しています。複数枚で購入すると少し安くなります。
 - ・ 現在のネームはカラーも数種類あり、学年によりカラーを統一することができます。
 - ・ 安全ピン（クリップ付き）は、1枚550円で販売しています。このタイプは、クリーム色の1色のみです。
- これらを考慮し、PTA等で検討し、決定していきたいと考えています。

授業中の過ごし方について。教科の先生によって水分補給をしていい先生と悪い先生がいるようなのでその点は、統一してほしいと思います。

以下のように統一しました。

○ 授業中の水分補給について

- ① 休み時間にトイレや水分補給を確実に済ませる。
- ② 教科担任等から指示があった場合（体育大会の練習、保体等）は、水分補給を行う。
- ③ その他で、授業中に水分を補給したくなった場合は、教科担任に申し出てから、水分を補給する。

3 部活動

夏休み中の部活動の時間が長過ぎないでしょうか？
日陰も無く、去年は熱中症になり、発熱し寝込んでしまう事が何度かありました。
何か事故が起きてからでは遅いと思いますので校長先生をはじめ、学校の先生方にお考え
いただきたく、こちらに記入させていただきます。
熱中症の予防、対応など、保護者に任せている部分が多い気がします。
ネッククーラーや熱中症対策グッズの許可も少ないと聞きます。
部活のあり方を今一度、お考えいただけたら幸いです。

○ 部活動について

- 学校の休業日（学期中の週末を含む）の実質活動時間は3時間程度となります。夏場は熱中症対策として休憩時間をこまめに長くとり、水分補給の声かけ等も行っています。熱中症対策グッズ等も許可しつつ、できる対策を行い、今後も熱中症予防には努めて参ります。部活のあり方等も検討していく予定です。

※ 他の御意見に対しては、職員で共通理解したり、町教委等へ連絡したりして対応を行っております。多くの御意見ありがとうございました。